

## 事業報告

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

### 概況

2024 年度は、「消費者相談」「消費者教育」「行政・企業・消費者団体等との連携」の 3 つを中心に活動を展開した。

消費者相談では、毎週土日に大阪・東京にて週末電話相談を実施し、多岐にわたる相談を受け付けた。秋には「住まいの契約トラブルなんでも 110 番」を実施し、結果を 110 番報告書として公表した。

消費者教育では、学校や行政等への講師派遣を行なうと共に、Z 世代とともに消費者問題を考える「NACS フォーラム」の開催、消費者教育リーダー養成や標準化普及啓発、ICT リテラシー向上啓発などを目的とした様々な講座・セミナーの実施、消費者教育支援室の設置による体制強化などを展開した。

行政・企業・消費者団体等との連携では、行政への提言、行政等の審議会への委員派遣、行政からの受託事業の実施、企業の消費者志向経営の推進支援、賛助会員との意見交換や協働などを推進した。

支部や本部委員会を中心に、会員向けの講座や勉強会も積極的に展開した。

また、広報誌、メールニュース、X などを通じて、会の内外へ消費生活や消費者問題に関する情報発信を行なった。

さらに、持続可能な組織体制を目指して、昨年 6 月に組織や役員体制を変更するとともに、コーポレートカラーの変更、5 支部のホームページのリニューアルなどを実施した。

2024 年度は、会員、賛助会員、行政、関係団体等のご協力のもと、様々な活動や新たな企画を展開するとともに、公益社団法人としての役割を発揮し、消費生活に関するわが国最大の専門家団体として安全・安心な消費社会の実現と持続可能な社会の構築に向けて貢献した 1 年であった。

### 事業別報告

#### 【I 公益目的事業】

##### 1. 消費生活に関する消費者相談

###### (1) 週末電話相談（ウィークエンド・テレホン）

- ・大阪相談室は毎週土曜日に、東京相談室は毎週日曜日に定例開催した。
- ・相談受付件数    大阪：646 件    東京：531 件    合計：1,177 件

###### (2) 消費者トラブルなんでも 110 番

- ・「住まいの契約トラブル 110 番 ～屋根工事・給湯器等の訪問販売、トイレのつまり・

水漏れの緊急修理、リースバック、賃貸住宅退去などなど～」をテーマに、10月の土日に大阪と東京の相談室にてウィークエンド・テレホンと同時開催で実施した。

・相談受付件数 大阪：27件 東京：21件 合計：48件

(3) 他団体の相談対応の受託

・消費者庁/株式会社ゲート・クリエイティブから委託を受け、1～2月の土日に「孤独・孤立に起因する消費者被害の電話相談会」の相談対応を行った。

## 2. 消費生活全般に関する消費者啓発・教育

### (1) 学校や自治体、企業等への講師派遣

#### ① 学校への講師派遣

小学校から大学まで 38 講座実施 (産業人材研修センターとの共同事業)

テーマ：環境・エシカル、生活の管理と契約、情報とメディア、

消費者市民社会の構築 等

| 支部名 | 講座数 | 受講人数 | 支部名 | 講座数 | 受講人数  |
|-----|-----|------|-----|-----|-------|
| 北海道 | 2   | 36   | 西日本 | 12  | 1,292 |
| 東北  | 4   | 79   | 中国  | 2   | 185   |
| 東日本 | 11  | 318  | 九州  | 5   | 696   |
| 中部  | 2   | 78   | 合計  | 38  | 2,684 |

#### ② 一般講師派遣 (自治体・企業等)

| 本支部名 | 一般講師派遣事業 | 産業人材研修センター共同事業 | 合計回数 |
|------|----------|----------------|------|
| 北海道  | 0        | 0              | 0    |
| 東北   | 9        | 1              | 10   |
| 東日本  | 22       | 1              | 23   |
| 中部   | 2        | 0              | 2    |
| 西日本  | 12       | 2              | 14   |
| 中国   | 0        | 0              | 0    |
| 九州   | 1        | 0              | 1    |
| 合計   | 46       | 4              | 50   |

### (2) 消費生活に関する講座やセミナー、シンポジウム等の開催

#### ① NACS フォーラム 「Z世代と考える消費者問題」第3回の開催

(アマゾンジャパン合同会社助成事業として実施)

・テーマ 「SNS をきっかけとした消費者問題」

・本フォーラム 12/14 京都開催 131 名参加

講師：龍谷大学教授 カライスコス アントニオス氏、

コーディネーター：鳴門教育大学教授 坂本有芳氏

・プレフォーラム 8/30 東京開催 44 名参加

② 消費生活・消費者問題に関するセミナー等の開催

<本部が実施した公開講座> (★は産業人材研修センターとの共同事業)

| <委員会><br>テーマ                                                 | 実施日   | 講師                                                           | 参加人数(うち一般)  | 実施方法   |
|--------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------|-------------|--------|
| <ICT委員会><br>「IPAの相談窓口に寄せられるネット被害相談とその手口・対処事例について」            | 6/20  | 独立行政法人情報処理推進機構 中島尚樹氏                                         | 189<br>(16) | オンライン  |
| <標準化委員会><br>標準化を通して消費者の脆弱性を考える～「脆弱な消費者」と「脆弱な状況にある消費者」の違いとは？～ | 10/19 | 経済産業省イノベーション・環境局国際標準課課長補佐 吉成崇宏氏<br>法政大学経済学部教授 菅富美枝氏          | 132<br>(32) | オンライン  |
| <環境委員会><br>「環境白書」を読む会～第六次環境基本計画とわたしたちの暮らし～                   | 10/22 | 環境省大臣官房総合政策課環境計画室長 黒部一隆氏<br>富山県知事政策局成長戦略室ウェルビーイング推進課課長 牧山貴英氏 | 120<br>(35) | オンライン  |
| <食生活委員会><br>大阪・関西万博を知ろう～ご存じですか？調達コード～                        | 11/28 | 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会企画局持続可能性部企画課 担当課長 黒川広治氏                | 85<br>(11)  | オンライン  |
| <金融委員会>★<br>2025 年からの金融経済教育～人生 100 年時代の金融リテラシーを考える～          | 1/24  | LIFE MAP 合同会社 代表 竹川美奈子氏<br>J-FLEC 理事長 安藤聡氏                   | 201<br>(90) | ハイブリッド |

<支部が実施した公開講座>

| <支部><br>テーマ                           | 実施日 | 講師                          | 参加人数(うち一般) | 実施方法  |
|---------------------------------------|-----|-----------------------------|------------|-------|
| <東日本支部><br>持続可能な社会におけるビジネスと人権の取組みについて | 7/6 | 一般財団法人CSOネットワーク 代表理事 古谷由紀子氏 | 55<br>(2)  | オンライン |

|                                                            |       |                                                  |             |            |
|------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------|-------------|------------|
| ＜九州支部＞★<br>シャボン玉石けん工場見学と<br>SDGs 学習講演                      | 8/17  | シャボン玉石けん株式会<br>社 代表取締役社長<br>森田隼人氏                | 31<br>(16)  | 対面         |
| ＜東日本支部＞<br>令和 6 年版消費者白書について                                | 8/23  | 消費者庁参事官（調査研<br>究・国際担当）<br>柳沢信高氏                  | 150<br>(30) | オンラ<br>イン  |
| ＜中部支部＞<br>インスタントハウス見学と北川啓介<br>教授講演会                        | 10/5  | 名古屋工業大学高度防災<br>工学センター<br>教授 北川啓介氏                | 21<br>(2)   | 対面         |
| ＜東日本支部＞<br>有料老人ホームの種類と選択のポイ<br>ントについて                      | 11/9  | 公益社団法人全国有料老<br>人ホーム協会<br>参与 倉田 久氏                | 98<br>(11)  | オンラ<br>イン  |
| ＜中部支部＞<br>誰もが「お一人さま」になる時代 ～<br>家族に頼らない高齢者支援システム<br>とは～     | 11/23 | 株式会社 OAG ウェルビーR<br>代表取締役 黒澤史津乃氏                  | 162<br>(35) | オンラ<br>イン  |
| ＜東日本支部＞<br>景品表示法の基本知識と最新動向                                 | 12/7  | 森・濱田松本法律事務所<br>弁護士 嶋村直登氏                         | 174<br>(29) | オンラ<br>イン  |
| ＜西日本支部＞<br>「法律基礎講座」改正消費者契約法を<br>どう活用するか                    | 12/8  | 御池総合法律事務所<br>弁護士 野々山宏氏                           | 201<br>(67) | オンラ<br>イン  |
| ＜中部支部＞<br>遺伝子組み換えとゲノム編集                                    | 12/14 | 元愛知県衛生研究所 衛生<br>化学部長 猪飼誉友氏                       | 27<br>(1)   | 対面         |
| ＜九州支部＞<br>知っておきたい相続の ABC                                   | 2/15  | 弁護士 平林敬語氏                                        | 14<br>(6)   | 対面         |
| ＜九州支部＞<br>消費者が身につけたい“サイエンス・<br>リテラシー” 2                    | 2/28  | 金沢星稜大学専任講師・<br>明治大学科学リテラシー<br>研究所客員研究員<br>山本輝太郎氏 | 154<br>(40) | オンラ<br>イン  |
| ＜東日本支部＞★<br>マシンガンズ滝沢さん考える「ご<br>み問題」～いつまでも捨てられると<br>思わないで！～ | 3/1   | お笑い芸人/ごみ清掃員/<br>環境省「サステナビリ<br>ティ広報大使」<br>滝沢秀一氏   | 212<br>(73) | ハイブ<br>リッド |
| ＜東日本支部＞<br>これからの消費者行政                                      | 3/15  | 明治学院大学法学部消費<br>情報環境法学科准教授<br>福島成洋氏               | 208<br>(75) | オンラ<br>イン  |

③ 標準化普及啓発活動（経済産業省/日本規格協会委託事業として実施）

・標準化セミナー

| 支部名 | 開催場所等        | 開催日           | 対象     | 参加者   |
|-----|--------------|---------------|--------|-------|
| 北海道 | 札幌エルプラザ      | 12/7          | 会員     | 8 名   |
| 東北  | 弘前大学         | 7/11          | 大学生    | 19 名  |
| 東日本 | 淑徳大学         | 11/18 & 11/25 | 大学生    | 23 名  |
|     | オンライン        | 2/10          | 会員     | 20 名  |
| 中部  | 中部大学         | 12/11 & 12/18 | 大学生    | 127 名 |
| 西日本 | 鳴門教育大学       | 11/11         | 大学生・院生 | 9 名   |
| 中国  | 広島経済大学       | 10/17         | 大学生    | 15 名  |
|     | 鳥取環境大学       | 12/12         | 大学生    | 14 名  |
| 九州  | かごしま国際交流センター | 1/18          | 一般     | 17 名  |

・標準化のタネ探し（消費者視点の標準化提案）

東北支部：避難施設・設備・災害用備蓄品の標準化

西日本支部：古着回収システムの標準化

九州支部：アルコール飲料と非アルコール飲料の誤飲事故を防ぐための方策

（３）受託事業

横浜市 地域の消費者被害未然防止出前講座講師派遣業務

東京都港区 消費者問題推進員育成支援業務

静岡県 高齢者向け消費者教育出前講座教材制作

３．消費生活分野の専門人材の育成

（１）相談業務を担う人材の育成

① 相談員養成講座 9/7、9/21、9/28 の３回開催 10 名参加

② 受託事業 消費生活相談員養成講座 徳島県、大阪府

（２）消費生活アドバイザー等消費生活専門資格の取得支援

① 消費生活アドバイザー資格取得支援事業

・消費生活アドバイザー試験対策講座の提供

1 次対策講座（オンデマンド講座）の提供

2 次論文通信添削講座の提供

2 次試験相談会の実施

・大学への消費生活アドバイザー資格入門講座の提供（産業人材研修センターとの共同事業） オンデマンド講座を 13 大学に無償で提供、94 名の大学生が受講

（３）ICT やエシカル消費等、新たな消費者課題に関する啓発の担い手の育成

① ICT リーダー育成事業 （グーグル合同会社助成事業）

・会員を対象としたリーダー育成オンラインワークショップ

| 支部名 | 開催日                | 人数 | 支部名 | 開催日  | 人数 |
|-----|--------------------|----|-----|------|----|
| 北海道 | 11/30              | 7  | 西日本 | 2/8  | 12 |
| 東日本 | 4/25, 8/24, 3/8・12 | 31 | 中国  | 1/25 | 8  |
| 中部  | 3/15               | 19 | 九州  | 1/25 | 9  |
| 合計  |                    |    |     |      | 86 |

・一般消費者を対象としたオンライン ICT 啓発講座

| 支部名 | 回数 | 人数  | 支部名 | 回数 | 人数  |
|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 北海道 | 6  | 21  | 西日本 | 10 | 81  |
| 東北  | 13 | 53  | 中国  | 2  | 13  |
| 東日本 | 8  | 169 | 九州  | 5  | 53  |
| 合計  |    |     |     | 44 | 390 |

② エシカル消費啓発リーダーの育成事業

・第2フェーズキックオフ 10月30日

第1フェーズの成果を踏まえ、第1フェーズでまとめた「構想書」は、参考にしつつも、より緩やかな活動とする旨を説明（第2フェーズには15名が参加）

・メンバーによる学校講師派遣の活動について情報共有 12月

③ 消費者庁食品ロス削減サポーターの活動支援

・今年度新たに29名が加わり認定登録152名。メーリングリストで情報共有を図るとともにオンラインで全国のサポーター活動報告会を実施し具体的活動を共有

・サポーター向けフォローアップ講座開催（オンライン）

講座名：「食品ロスをめぐる事情」 87名参加

講師：消費者庁食品ロス削減推進室田中誠室長

・会員サポーターが実施した啓発講座（他の事業との重複を含む）

| 対象     | 回数 | 人数        |
|--------|----|-----------|
| 一般消費者  | 24 | 1143+80世帯 |
| 学校     | 9  | 239       |
| 実証実験事業 | 6  | 171       |
| 合計     | 39 | 1553+80世帯 |

・消費者庁新未来創造本部令和6年度実証実験事業に協力。消費者庁のガイドブック概要版を用いて食品ロス削減講座を実施し、受講者アンケートにも協力

| 依頼元                | 一般/学校      | 日程    | 実施形式  | 人数 |
|--------------------|------------|-------|-------|----|
| 板野町消費生活相談所（徳島県）    | 学校（社会人枠）   | 11/29 | 対面    | 30 |
| 徳島市消費生活センター        | 学校（社会人枠）   | 9/30  | 対面    | 28 |
| 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 | 学校         | 10/23 | 対面    | 40 |
| 三豊町消費者友の会          | 一般         | 12/11 | 対面    | 25 |
|                    | NACS 会員    | 11/10 | オンライン | 14 |
|                    | NACS 会員・一般 | 12/2  | オンライン | 24 |

④ 講師養成講座（産業人材研修センターとの共同事業）

| テーマ             | 実施日  | 講師                             | 人数 | 実施方法  |
|-----------------|------|--------------------------------|----|-------|
| 伝える講座から行動させる講座へ | 1/18 | 日本マイクロソフト株式会社<br>エバンジェリスト西脇資哲氏 | 72 | オンライン |

4. 消費生活の諸課題に関する調査・分析を行い、その結果を社会に還元する活動

（1）消費生活・消費者問題に関する情報発信

① 広報誌の発行

- ・2024 年夏号 特集「空き家問題」
- ・2024 年秋号 特集「製品安全～インターネット取引～」
- ・2025 年新春号 特集「2024 年の 10 大トピックス」
- ・2025 年春号 特集「カスタマーハラスメント」

② メールマガジンの配信

- ・7 月より内容を一新し毎月 25 日頃に定期配信

③ X や YouTube による情報発信

④ 5 支部（北海道・東北・中部・中国・九州）のホームページを 11 月にリニューアル

（2）提言

① 意見書の提出

| 提出日  | 提出先            | 内容                                      |
|------|----------------|-----------------------------------------|
| 5/31 | 経済産業大臣、消費者庁長官他 | 「消費生活用製品安全法等の一部を改正する法律案」の早期成立を求める意見書    |
| 7/29 | 個人情報保護委員会      | 「個人情報保護法 いわゆる 3 年ごと見直しに係る検討の中間整理」に関する意見 |
| 11/8 | 総務省            | 「ICT サービスの利用環境の整備に関する研究会報告書案」に対する意見書    |
| 1/22 | 消費者庁           | 「第 5 期消費者基本計画（素案）」に関する意見書               |
| 1/23 | 消費者庁           | 「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」変更素案に関する意見書       |
| 1/26 | 経済産業省          | 「第 7 次エネルギー基本計画（案）」に対する意見書              |

（3）研究発表・情報提供

- ①自主研究会研究発表会開催 東日本支部：9/14、西日本支部：3/2
- ②国民生活センター主催「全国消費者フォーラム」でのポスター展示
- ③東京都くらしフェスタ等でのパネル展示

## 5. その他

### (1) 事業者の消費者志向経営の支援

#### ① 消費者志向 NACS 会議の開催 (産業人材研修センターとの共同事業)

| ＜委員会＞<br>テーマ                                        | 実施日  | 講師                                                                                  | 参加人数<br>(うち一般) | 実施方法    |
|-----------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------|
| ＜消費者志向推進委員会＞<br>安全・安心な消費社会に向けて<br>～企業の安全文化と消費者志向経営～ | 12/3 | Food Communication<br>Compass<br>代表 森田 満樹氏、<br>(株) ニップン 穂坂<br>優子氏、ライオン(株)<br>今井 竜司氏 | 132<br>(69)    | ハイフレックス |

#### ② 消費者モニターや委員等の派遣

事業者や事業者団体からの要請に基づき会員を消費者モニターや委員として派遣

#### ③ 事業者団体等との意見交換会や勉強会、見学会等の実施

生命保険協会、損害保険協会、リビングアメニティ協会、製品安全協会 等

#### ④ リレーインタビュー 持続可能な社会に向けた企業の取組みをホームページ公開

アフラック生命保険会社

#### ⑤ 認定個人情報保護団体としての活動

個人情報保護委員会に認定業務廃止を申請し 2025 年 3 月をもって認定を返上

#### ⑥ 事業者からの受託事業

トークコンテスト審査員派遣、消費者対応スキル向上研修会、  
消費生活アドバイザー 一次試験対策講座、WEB ページの第三者講評 等

### (2) 交流活動

・行政、地方自治体、消費者関連団体、事業者団体への委員派遣

消費者庁、経済産業省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、環境省、東京都、  
神奈川県、大阪府、名古屋市 等

## 【Ⅱ 共益目的事業（会員のための活動）】

### 1. 支部における会員活動

(1) 支部大会の開催 北海道：5/25、東北：6/16、東日本：5/25、中部：6/8、  
西日本：6/29、中国：6/30、九州：6/22

(2) 支部会報誌の発行 北海道：「ぷりずむ」2 回、東北：「ふれんどリー・とうほく」  
4 回、東日本：「いーすと」10 回、中部：「セントラル C+」4 回、西日本：「ハーモニー」  
11 回、中国：「中国支部ニュース」6 回、九州：「トライアングル」4 回

(3) 会員向け研修・勉強会等の開催 29 回

2. 本部主催による会員向け研修・勉強会等の開催 13 回

3. 賛助会員との交流

(1) 賛助会員との意見交換会や勉強会の開催

(2) 賛助会員限定オンデマンド講座 2 回配信

「消費者と事業者のコミュニケーション」「エシカル消費」

【Ⅲ 各支部・各本部委員会の活動】

1. 各支部

<北海道支部>

会員向け研修会 2 回、標準化事業 1 回、ICT の一般向けセミナー 2 回、損保勉強会 1 回と当初の計画以上の開催を実施し想定以上の参加者があった。加えて懇親会等交流の場を活発に提供したためコロナ前の活気を取り戻した。自主研究会も支援、それぞれ活発に活動している。会員情報誌は 2 回発行。

<東北支部>

主に消費者向け啓発事業に注力。特に山形県、山形市は講座の一括受注を行い、支部会員だけではなくネット東北の弁護士にも依頼し、また宮城県、仙台市、秋田県、秋田市においては支部会員が中心になって、食品ロス削減、エシカル消費、消費者被害防止を目的とした I C T 出前講座を実施。6/30 には二つのイベント、大学が主催で企業、行政、消費者団体が共同参加した「SDG s マルシェ」、仙台市市民活動サポートセンターが主催した「マチノワPOP!」に会員を総動員で参加。主にエシカル消費を一般消費者に向けて啓発活動として行った。また会員向けに出前講座の講師養成を目的としたスマホ講座、スキルアップを目的とした生損保の勉強会を行った。

<東日本支部>

支部外への働きかけを促進し、活動の場の拡大と充実を図ること。また、支部内においては対面による会員交流を通じて活動への理解を深め、組織と活動の活性化を目指した。

前者については、各種講座をはじめ、行政等の受託事業実施（港区消費者問題推進員育成支援業務・横浜市地域の消費者被害未然防止出前講座講師派遣業務・（公社）日本通信販売広告協会通販広告実態調査等）を通じて会員の活動機会の拡大と、活動内容の充実が図れた。

後者については、地域の各分科会主催による施設見学会や、メインイベントである支部大会（5 月）、研究発表会（9 月）の会場参加者の増加など、対面による会員間の交流に進展が見られた。産業人材研修センター共同事業（3 月）は、お笑い芸人（マシンガンズ）兼ごみ清掃員であり環境省サステナビリティ広報大使でもある滝沢秀一氏を講師に「ごみ問題」をテーマとしたセミナーを開催。一般消費者と事業者、行政が共に考え、さらに、協働にもつながる機会となった。

#### <中部支部>

各委員会、分科会で計画した事業および本部委員会事業に対し特に問題なく実施できた。静岡県からの受託事業についても計画通り完了した。支部会員が漸減しているという状況を踏まえ、運営面の一層の効率化と会員活動の盛り上げを図るための諸活動を進めてきた。結果、会員活動の活性化では新研究会発足に向けた会員へ働き掛けをおこない4つ目となる「超スマート社会研究会」が活動を開始した。一方、運営面ではペーパーレス化のため支部活動報告書の電子配信に移行を決め、2025年度から実施することになった。

#### <西日本支部>

「啓発」事業では、行政関連として昨年に引き続き大阪府から委託を受け、「即戦力となる相談員の育成・コーディネート事業」と徳島県の相談員資格取得支援事業を実施した。また、企業向けの消費生活アドバイザー試験対策講座を受託した。更には、学校や一般講師派遣として多くの会員が実施した。「連携」事業としては、賛助会員企業の方々にもご参加いただき、11月に消費者問題懇話会を開催しグループワークを行った。

西日本支部の11自主研究会は、それぞれの専門分野について、調査研究に基づいた報告書の発行、外部発表、啓発講座開催などを行っている。2024年度も3月に、自主研究会発表大会を会場とオンラインを結んで開催した。

#### <中国支部>

10年ぶりに支部長が交代した。「地域に根差し、無理なく、長く続ける」を活動モットーとして継承、みんなが仲良く、楽しく、刺激を受けながら、日常と異なるコミュニティ・居場所、大人の放課後のサークル活動の場となるような長続きする支部活動を目指した。オンラインによるメリットを活かしながら対面による活動も徐々に復活した。情報発信と分科会活動に着目、支部ニュース発行(年6回)やシクミネット利用による情報提供など会員間のタイムリーな情報共有に努めた。リソースを分科会に厚めに配分、全県で学習会や交流会が開催できるなど、分科会活動の活性化に努めた。対外的には、講演会(6月)開催、学校講師派遣など、また、標準化セミナーでは新たな大学の開拓など、精力的な活動もあった。運営委員に新たな試みとして広島市周辺以外の遠隔地メンバーが加わり、毎月の運営委員会を軸に地味ではあるが地方支部として一定の活動ができた。

#### <九州支部>

年初計画事業はすべて実施できた。6月支部大会および記念講演会と懇親会、8月産業人材研修センター共同事業にてシャボン玉石けん工場見学と社長講演、SDGs学習トークの公開実施。9月には連携5年目となる九州経済産業局事業「消費生活の変化に伴う消費者と事業者の円滑なコミュニケーション」をハイブリッド開催、九電みらいエナジー八丁原地熱発電所へのバス見学会、1月、標準化外部セミナーin鹿児島、ICTリーダー養成、2月、対面法律研修会(相続テーマ)と新合格者+新入会員歓迎懇親会、「溢れるニセ科学情報に騙されるな!サイエンス・リテラシー2」、3月入会説明会「私を生かす、資格を活かす」を全国オンライン開催。その他、辛子めんたいこや家電製品の公正取引協議会、学校講師派遣への対応、経済産業省受託標準化調査事業、標準化外部セミナー先開拓などの活動も行った。全国委員会で活躍する会員が増えた。

## 2. 本部各委員会等

### <企画委員会>

- ・「社会における消費者教育」「学校における消費者教育」における、消費生活に関する研修等の共催事業の企画立案、実地および集約。組織との連携および窓口対応、および大学生向け消費生活アドバイザー対策講座を実施。
- ・受託事業全般の進捗を管理。
- ・会員増強に向けたリーフレット作成と勧誘チラシ、ホームページリニューアルを実施。
- ・担当理事を中心に理事会運営、稟議管理等を実施。

### <広報委員会>

- ・5 支部（北海道・東北・中部・中国・九州）ホームページの全面リニューアルを実施。11 月のコーポレートカラー変更と合わせて一般公開とした。リニューアル作業を機に各支部 HP 管理者に対し本部広報の定例会参加を呼びかけると共に、NACSnews での積極的な支部活動の紹介・展開など、NACS 会員の今を発信する体制構築と会員の旬の活動を横断的に捉える取り組みを実施した。
- ・消費者団体として持続可能かつ分かりやすい情報公開を目的とし、HP/メルマガの吟味検討を行った。

### <消費者相談室>

- ・週末電話相談は、8/31 9/1 に台風 10 号接近につき休室した以外は予定通り開室した。（相談件数 1,177 件）
- ・なんでも 110 番は予定通り 10 月に実施（相談件数 48 件）。
- ・相談員養成講座は 9 月に実施（参加者 10 名）。
- ・消費者庁「孤独・孤立に起因する消費者被害の防止等のための啓発事業」の再受託。
- ・賛助会員との意見交換会・見学会の実施（リビングアメニティ協会、C I C、生保協会）。

### <消費者教育支援室>

- ・講師養成基本講座 1/18(土) マイクロソフト社 西脇資哲氏 講演会（オンライン）実施／参加者 72 名
- ・講座等の全体像把握 各支部・各委員会が任意に実施する研修会等の集約、配信
- ・講師のネットワークの支援 ニュースレター Vol.1 配信（12 月） Vol.2 配信（3 月）
- ・消費者庁消費者教育ポータルサイト「事例紹介」に NACS の教材を活用した出前講座ならびに教材を紹介。
- ・講師支援の一環として「PPT テンプレート」を提供。
- ・本部事務局と連携し、本部 HP「講師登録情報」について登録項目の見直しを行った。

### <消費生活研究所>

- ・研究所の取り組み方針、パブリックコメントの作成発信ルールを策定し、業務執行会議の承認を得て内規とした。
- ・研究グループの活動 前年度の課題を抽出し、その対策を検討のうえ、方針取組と推進方法を策定した。

- ・提言グループの活動 消費者関連の法律・制度などの提言活動(パブリックコメント) 5件。公正取引委員会との学習会開催(2/26) テーマ「スマホソフトウェア競争促進法を学ぼう」。国セン「全国消費者フォーラム」への参加(2/21) ポスターセッション「自転車運転の安全はヘルメットから ～アンケート結果報告より～」

#### <環境委員会>

- ・セミナー主催 『『環境白書を読む会』～第六次環境基本計画とわたしたちの暮らし～』 24/10/22(申込者120名)
- ・セミナー共催(消団連)「エネルギー基本計画学習会」(2回) 24/11/29(申込者72名)、25/1/20(申込者28名)
- ・セミナー共催(GPN)「持続可能な農林水産業の実現に向けたステークホルダーとの協働～食のサステナビリティを考える～」 24/12/7(申込者30名)
- ・セミナー共催(GPN)「消費者の視点で考えるカーボンフットプリント ～企業努力と数値の受け止め方～」 25/3/22(申込者105名)
- ・第7次エネルギー基本計画(案)への意見書提出
- ・受託事業 (株)トッパングラフィックコミュニケーションズ 第三者レビュー会議参加(全2回) 24/6/20、9/6
- ・会員向け サス広場オンラインカフェ開催 24/5/16、6/13、8/24
- ・ポータブル電源用太陽光パネルリサイクルの現状についてのヒアリング
- ・食料廃棄物の削減・資源の循環に貢献できるような協働事業への取り組みに向け食生活委員会との連携を検討
- ・賛助会員(日本LPガス団体協議会)との意見交換会・見学会の実施(24/11/13、参加者9名)

#### <消費者志向推進委員会>

- ・消費者志向 NACS 会議 12/3 ハイブリッド開催、申込者132名。
- ・COMS 改訂 消費者志向経営方針や具体的取組み分野の改訂について議論
- ・消費者庁消費者志向推進組織メンバーとしての活動 有識者検討会へのオブザーバー参加、消費者志向優良事例表彰選考委員会への推薦書提出、消費者志向経営に関する連絡会参加。

#### <ICT 委員会>

- ・年度初めに委員長交代及び活動方針の見直しを行なった。また、新メンバーを公募し2名が参加した。
- ・公開講座「IPA(独立行政法人情報処理推進機構)の相談窓口に寄せられるネット被害相談とその手口・対処事例について」を実施。
- ・(一社)全国携帯電話販売代理店協会との情報交換会を実施。
- ・(一社)日本インターネットプロバイダー協会との情報交換会を実施。
- ・電気通信関連のパブリックコメントを5件提出。
- ・総務省からの電気通信サービスに関するヒアリングに対応した。

- ・その他、経産省デジタルプラットフォームのモニタリング会合にオブザーバー出席、消費者庁からの依頼による記事原稿執筆。

#### <金融委員会>

- ・①委員会体制の見直し、②定例会の開催、③学習会開催とフィードバック、④金融経済教育推進機構の活動に対する参画、支援、提言、⑤外部への情報発信⑥研究テーマ等の取組み、に取り組んだ。
- ・年度初めに体制を見直した上で、定例会を偶数月に実施。学習会としては、「BNPLの現状と課題（自主勉強会）」、「J-FLECの概要、設立に至る経緯（永沢理事）」、「カウンセリング的アプローチを用いた相談対応（貸金業協会）」、「クレジットガイダンスに関する学習会の実施2回（CIC）」、産業人材研修センター共催「金融経済教育シンポジウム（ハイブリッド開催）」と隔月でのイベントを実施。その他、日経ヴェリタス「プロが解説」5回連載、「くらしの情報かわさき」執筆、消費者基本計画素案へのパブリックコメント、消費者委員会専門調査会への参画対応実施。目標は概ね達成し、内容についても充実したものであった。

#### <食生活委員会>

- ・食品ロス削減推進サポーターに新たに29名が加わり152名が認定登録。メーリングリストで情報共有。サポーターは全国各地で食品ロス削減啓発活動に取り組んでいる。
- ・NACS会員サポーターフォローアップ講座を10/17オンラインで実施。講師は消費者庁食品ロス削減推進室田中誠室長。87名受講。
- ・食生活委員会の内部学習会を2回（小麦の話、大阪・関西万博調達講座Part2）実施。
- ・公開講座「大阪・関西万博を知ろう～ご存じですか調達コード」（講師・公社2025年日本博覧会協会・黒川広治氏）を11/28に開催し、会員・会員外合わせ84名が受講。
- ・消費者庁新未来創造本部の令和6年度実証事業に協力し、消費者庁のガイドブック概要版を用いた食品ロス削減講座を対面4回オンライン2回の計6回実施。
- ・食品ロス削減推進サポーター活動報告会、68名受講。

#### <標準化委員会>

- ・「IS022458 消費者の脆弱性 包摂的なサービスの設計と提供のための要求事項とガイドライン」をテーマとした公開講座「標準化を通して消費者の脆弱性を考える～脆弱な消費者と脆弱な状況にある消費者の違いとは？～」を10/19に開催し、約100名の参加。また、IS022458関連のアンケート調査をNACS賛助会員に対して実施し、公開講座で概要報告を行うとともに、本部HPに調査結果を掲載した。
- ・標準化に関する知識の拡充を目的として、日本産業標準調査会、COPOLCO、JIS原案作成委員会、SG基準作成委員会等の外部委員会に参加した会員による報告会を実施した。
- ・経済産業省委託による標準化セミナーを全国7支部で計9回開催した。うち北海道支部では2018年以来6年ぶりの標準化セミナー開催であった。9回のうち6回（新規1大学含む）が大学生向けの標準化セミナーで、若い世代を対象とした標準化の普及啓発活動に貢献した。

- ・NACS 提案の標準化テーマの展開を目指して「標準化のタネ探し活動」を 3 支部（東北支部、西日本支部、九州支部）で実施した。また、経済産業省の標準化テーマ公募にあたり ISO22458 に関する JIS 開発を申請して採択された。
- ・外部ステークホルダーとの連携においては、日本規格協会と引き続き標準化事業を中心に連携。また、経済産業省からの依頼により、標準化推進月間（10 月）では消費者意見の窓口としての機能を果たした。ISO22458JIS 化活動では関係省庁や業界団体を訪問して参画要請を行った。

#### 【IV 組織基盤の確立】

##### 1. 組織・体制変更

専務理事・常務理事を新設し本部体制を強化。本部委員会組織体制を変更。消費者教育支援室を設置。

##### 2. コーポレートカラー変更

多様な色覚に配慮し、11 月 20 日よりコーポレートカラーを緑色から青色に変更

##### 3. 消費者問題懇話会

2024 年度末に廃止し会員企業は賛助会員に移行

##### 4. 規程・ルール等の改正・新設

稟議規程、報酬支給規程、著作権管理規程、協会名称・ロゴマーク利用規程、賛助会員規程、就業規則、外部委員選任ルール、パブリックコメント作成発信ルール等

#### 【V 管理業務】

##### 1. 総会、理事会の開催

###### （1）総会

第 14 回定時社員総会 2024 年 6 月 15 日

|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第 1 号議案 2023 年度決算報告及び監査報告の件<br>第 2 号議案 役員選任の件<br>第 3 号議案 定款改正の件<br>第 4 号議案 役員報酬の件 |
| 報告事項 | 1. 2023 年度事業報告の件<br>2. 2024 年度事業計画の件<br>3. 2024 年度事業予算の件                          |

(2) 理事会

第1回理事会 2024年5月25日

|      |                                                                                                                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 正会員入会承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 第14回定時社員総会議案承認の件<br>第4号議案 定時社員総会招集の件<br>第5号議案 顧問選任の件<br>第6号議案 理事の利益相反取引承認の件<br>第7号議案 協会名称、ロゴマーク利用規程新設の件<br>第8号議案 理事会運営規程改正の件 |
| 報告事項 | 1. 2023年度第2回中間監査結果報告の件<br>2. 審議会等委員選任ルールの件<br>3. 業務執行報告の件                                                                                                                 |

第2回理事会 2024年6月15日

|      |                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 会長、副会長選定の件<br>第2号議案 正会員入会承認の件<br>第3号議案 組織規程及び事務局組織規程の改正の件<br>第4号議案 理事の職務権限規程改正の件<br>第5号議案 本部組織における職務分掌および本部各委員会の委員長選任の件 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

第3回理事会 2024年8月23日

|      |                                                                                                                                                        |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 正会員入会承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 報酬支給規程改正の件<br>第4号議案 稟議規程改正の件<br>第5号議案 臨時職員就業規則細則改正の件<br>第6号議案 理事の利益相反取引の承認の件<br>第7号議案 電気製品認証協議会入会の件       |
| 報告事項 | 1. NACS フォーラム報告の件<br>2. 代表理事および理事の他団体・他法人の役員兼職の件<br>3. 外部委員選任ルールの件<br>4. 2024年度受託事業の進捗状況の件<br>5. 定款改正に伴う諸規定変更の件<br>6. 新組織図の件<br>7. 2024年度6月～8月業務執行報告の件 |

第4回理事会 2024年10月12日

|      |                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 正会員入会承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 2024年度第2次補正予算の件<br>第4号議案 賛助会員規程改正の件<br>第5号議案 消費者問題懇話会廃止の件<br>第6号議案 認定個人情報保護団体の継続可否の件<br>第7号議案 消費生活関連事業基金取崩しの件<br>第8号議案 理事の利益相反取引追加承認の件<br>第9号議案 2025年度定時社員総会日時決定の件 |
| 報告事項 | 1. 2024年8月月次決算の件<br>2. 令和7年度消費者支援功労者表彰推薦者の件<br>3. 2024年度受託事業の進捗状況の件<br>4. パブリックコメント作成発信ルールの件                                                                                                                    |

第5回理事会 2024年12月18日

|      |                                                                                                                                       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 正会員入会承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 講師派遣時の自家用車使用規程の件<br>第4号議案 著作権管理規程の件<br>第5号議案 協会名称・ロゴマーク利用規程改正の件<br>第6号議案 理事の利益相反取引追加承認の件 |
| 報告事項 | 1. 2024年11月月次決算報告の件<br>2. 2024年度第1回中間監査報告の件<br>3. 消費者庁「デジタル社会における消費取引研究会」の件<br>4. 2024年度受託事業等の進捗状況の件<br>5. 業務執行報告の件                   |

第6回理事会 2025年3月7日

|      |                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決議事項 | 第1号議案 正会員入会承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 2025年度基本方針・事業計画・予算承認の件<br>第4号議案 就業規則および臨時職員就業規則細則の改正の件<br>第5号議案 理事の利益相反取引追加承認の件                         |
| 報告事項 | 1. 2025年1月月次決算の件<br>2. 2024年度第2回中間監査報告の件<br>3. 2025年度顧問の件<br>4. 令和7年度経済産業省標準化委託事業の実施テーマ採決の件<br>5. 消費者庁「デジタル社会における消費取引研究会」の件<br>6. 2024年度受託事業等の進捗状況の件 |

|  |                                                   |
|--|---------------------------------------------------|
|  | 7. 2025 年度会議体および 2025 年度総会スケジュールの件<br>8. 業務執行報告の件 |
|--|---------------------------------------------------|

## 2. 役員報酬の支払い

役員報酬規程第 7 条に基づき、2024 年度の役員報酬の役員別支払金額および支払総額を開示いたします。

| 役職               | 氏名（敬称略） | 役員報酬<br>（円） | 備考（理事会 6 回開催、監事<br>会 3 回開催） |
|------------------|---------|-------------|-----------------------------|
| 代表理事会長           | 河上 正二   | 120,000     | 理事会 5 回出席<br>会長としての報酬       |
| 代表理事副会長          | 樋口 容子   | 120,000     | 理事会 6 回出席<br>副会長としての報酬      |
| 代表理事副会長          | 丹羽 典明   | 103,000     | 理事会 6 回出席<br>副会長としての報酬      |
| 専務理事<br>（業務執行理事） | 坂倉 忠夫   | 1,353,000   | 理事会 6 回出席<br>常勤専務理事としての報酬   |
| 常務理事<br>（業務執行理事） | 井澤 智史   | 100,000     | 理事会 5 回出席<br>常務理事としての報酬     |
| 常務理事<br>（業務執行理事） | 河嶋 信子   | 120,000     | 理事会 6 回出席<br>常務理事としての報酬     |
| 常務理事<br>（業務執行理事） | 米山 眞梨子  | 100,000     | 理事会 5 回出席<br>常務理事としての報酬     |
| 理事               | 石倉 央    | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 石戸谷 豊   | 18,000      | 理事会 6 回出席                   |
| 理事               | 磯山 利英   | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 糸島 節子   | 42,000      | 理事会 6 回出席                   |
| 理事               | 河村 秀範   | 18,000      | 理事会 6 回出席                   |
| 理事               | 北川 住江   | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 菅原 功    | 12,000      | 理事会 4 回出席                   |
| 理事               | 鈴木 源一   | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 永沢 裕美子  | 0           | 理事会 6 回出席、受取辞退              |
| 理事               | 橋本 康正   | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 林 真実    | 18,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 原 郁子    | 18,000      | 理事会 6 回出席                   |
| 理事               | 番田 晶子   | 15,000      | 理事会 5 回出席                   |
| 理事               | 星野 不二雄  | 18,000      | 理事会 6 回出席                   |
| 理事               | 丸山 明夫   | 18,000      | 理事会 6 回出席                   |

|                           |        |           |              |
|---------------------------|--------|-----------|--------------|
| 監事                        | 木村 彰宏  | 35,000    | 理事会5回出席、監査2回 |
| 監事                        | 近藤 幸直  | 48,000    | 理事会6回出席、監査3回 |
| 監事                        | 中村 典子  | 35,000    | 理事会5回出席、監査2回 |
| (以下は2024年度定時総会にて退任の理事・監事) |        |           |              |
| 理事                        | 青木 裕佳子 | 0         | 理事会0回出席      |
| 理事                        | 奥原 早苗  | 0         | 理事会1回出席、受取辞退 |
| 理事                        | 北 創    | 0         | 理事会0回出席      |
| 理事                        | 田中 美恵子 | 0         | 理事会1回出席、受取辞退 |
| 理事                        | 村上 千里  | 0         | 理事会1回出席、受取辞退 |
| 監事                        | 城戸 譲二  | 13,000    | 理事会1回出席、監査1回 |
| 監事                        | 杉田 努   | 13,000    | 理事会1回出席、監査1回 |
| 合計                        |        | 2,412,000 |              |

### 3. 会員数

2024年度末会員数

正会員            1,967名        (対前年同月比 ▲52名)

賛助会員        101社        (対前年同月比 +5社)

### 4. 寄附

2024年度寄附金            総額 772,200円

ご寄附をいただいた方々(敬称略、五十音順)

青山理恵子、河嶋信子、永沢裕美子、丹羽典明、樋口容子、他匿名2名

ご寄附をいただいた方々に深く感謝申し上げます。

以上